

(注)「コモロ連合月報」は、新聞報道等をまとめたものであり、当館として事実関係を確認したものではありません。記事中にコモロ政府の公式見解と異なる内容が含まれる場合もあるため、予めご留意をお願いします。なお、各記事冒頭の日付は、報道された日付です。

## コモロ連合月報（2026年3月）

### 《主な出来事》

#### 【内政】

- 19日 (Al Watwan) 19日の閣議では、農業、外交、情報、通信、雇用分野等の重要案件を審議。農業分野では、全国規模の農業総合センサス実施に向けた会合開催が示され、農業を雇用・所得・食料安全保障を支える基幹分野と位置づけた。外交面では、モロニ開催予定のインド洋委員会閣僚理事会を2027年インド洋諸島競技大会準備にもつなげる戦略的機会と評価。通信分野では、国家データガバナンス戦略を策定する作業部会設置案が提示され、情報分野では民主的発展、社会的結束、偽情報対策を目的とするメディア教育・情報リテラシー国際シンポジウム開催案が全会一致で承認された。

#### 【外政】

- 4日 (La Gazette) 2日、政府は中東情勢の緊張激化を受けて記者会見を開き、被害国への連帯と対話・自製の必要性を表明した。あわせて、在外コモロ人支援の準備、米7000トンの輸送、石油・ガス備蓄の確保、省庁横断の監視体制の設置を発表し、食料・エネルギー面での安定維持に努める姿勢を示した。

#### 【経済】

- 11日 (La Gazette) IMFはコモロのインフレ率が2025年3月の7.3%から10月には1.9%へ低下したと報告した。主因は輸入価格の下落で、世界経済が不安定な中でも物価上昇は抑制された。IMFは拡大信用ファシリティ (FEC) に基づく改革プログラムの進展を評価し、経済回復や外貨準備の安定、今後の成長見通しに前向きな見方を示している。

#### 【社会】

- 23日 (La Gazette) 18日夜、ミツァミウリ沖 (Mitsamiouli : グランコモロ島北部) で移民船が難破し、51人中18人が死亡、30人が救助、3人が行方不明となった。犠牲者の多くはコンゴ (民) 人とブルンジ人で未成年も含まれる。事故はマイヨットを目指す不法移動の中で発生し、密航業者に関連する可能性がある。救助には当局と住民が対応し、現在も捜索と捜査が続いており、危険な海上移動の深刻さが改めて浮き彫りとなった。

### 1 内政

- 4日 (La Gazette) 2日、コモロでは村落間の対立が深まり、一部の若者が対立解決の手段としてモスクを閉鎖する事態が起きている。これを受け、内務大臣は県知事や全国市長会と協議し、イスラム問題省等との連携を踏まえつつ、対話による沈静化と社会的結束の強化を図る方針を示した。参加者からも具体策への期待が表明された。  
[https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/tracer-une-voie-de-coh%C3%A9sion-et-d%E2%80%99harmonie-sociale-.html?utm\\_source=chatgpt.com](https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/tracer-une-voie-de-coh%C3%A9sion-et-d%E2%80%99harmonie-sociale-.html?utm_source=chatgpt.com)
- 12日 (Al Watwan) 11日の閣議では、農業分野で250人の若者を採用し、現代農業に対応するための専門研修を行う計画が発表された。また農産物 (バニラ・クローブ・イランイラン) の海外販促、警察施設の改修、AI活用の検討、全国健康保険制度の試験運用なども議題となった。さらにモヘリ島

カンガニに新たなごみ処理場を設け、不法投棄防止のため住民への啓発活動も進める方針が示された。

<https://alwatwan.net/politique/conseil-des-ministres-i-250-jeunes-seront-bient%C3%B4t-recrut%C3%A9s-et-int%C3%A9gr%C3%A9s-dans-le-secteur-agricole.html>

- **19日** (Al Watwan) 18日の閣議では、農業、外交、情報、通信、雇用分野等の重要案件を審議。農業分野では、全国規模の農業総合センサス実施に向けた会合開催が示され、農業を雇用・所得・食料安全保障を支える基幹分野と位置づけた。外交面では、モロニ開催予定のインド洋委員会閣僚理事会を2027年インド洋諸島競技大会準備にもつなげる戦略的機会と評価。通信分野では、国家データガバナンス戦略を策定する作業部会設置案が提示され、情報分野では民主的発展、社会的結束、偽情報対策を目的とするメディア教育・情報リテラシー国際シンポジウム開催案が全会一致で承認された。 <https://alwatwan.net/politique/conseil-des-ministres-i-un-colloque-international-annonc%C3%A9-sur-l%E2%80%99%C3%A9ducation-aux-m%C3%A9dias.html>

## 2 外政

- **4日** (La Gazette) 2日、政府は中東情勢の緊張激化を受けて記者会見を開き、被害国への連帯と対話・自制の必要性を表明した。あわせて、在外コモロ人支援の準備、米7000トンの輸送、石油・ガス備蓄の確保、省庁横断の監視体制の設置を発表し、食料・エネルギー面での安定維持に努める姿勢を示した。 [https://mail.lagazettedescomores.com/assets/images2026/PDF/lagazette-5074.pdf?utm\\_source=chatgpt.com](https://mail.lagazettedescomores.com/assets/images2026/PDF/lagazette-5074.pdf?utm_source=chatgpt.com)
- **21日** (Al Watwan) アザリ大統領はイード礼拝で、中東の即時停戦と対話再開を呼びかけた。演説ではラマダンで培った寛容や連帯の精神を強調し、国内の分断やSNS上の憎悪の排除、国家の統一と安定維持の重要性を訴えた。また世界的な戦争や人権侵害の拡大に懸念を示し、平和の価値を強調。宗教指導者や有力者も紛争終結を祈願し、国内外の安定と共存の必要性が共有された。 <https://alwatwan.net/societe/voeux-de-la%C3%AFd-el-fitr-i-le-chef-de-l%C3%A9tat-a-sollicit%C3%A9-le-pardon-%C3%A0-dieu-et-appelle-%C3%A0-un-cessez-le-feu-au-moyen-orient.html>
- **24日** (Al Fajr) 16日の週、モハメド内務大臣は、コモロと米国の協力強化の一環として、米国代表団と地域安全保障に関する協議を行った。米国の協力は、コモロ軍は作戦能力の強化、特に技術訓練および後方支援訓練を通じて実施される。
- **25日** (La Gazette) 24日、インド技術・経済協力計画 (ITEC) デーが開かれ、IT、農業、保健、再生可能エネルギー分野を中心に、インドとの技術・経済協力を強める方針が確認された。 [https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/c%C3%A9l%C3%A9bration-de-la-journ%C3%A9e-itec-aux-comores-renforcement-de-la-coop%C3%A9ration-avec-linde-.html?utm\\_source=chatgpt.com](https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/c%C3%A9l%C3%A9bration-de-la-journ%C3%A9e-itec-aux-comores-renforcement-de-la-coop%C3%A9ration-avec-linde-.html?utm_source=chatgpt.com)
- **26日** (Al Fajr) アザリ大統領は赤道ギニアを訪問し、関係当局と持続可能な開発とブルーエコノミーに関するパートナーシップについて協議した。

### 3 経済

- 2日 (Al-Fajr) モヘリ島では、輸入燃料への依存と慢性的な停電から脱却するため、太陽光パネル5000枚を備えた出力3メガワット級の太陽光発電計画が始動した。電力の安定供給や燃料コストの削減、地域経済の活性化に加え、温室効果ガスの排出抑制も狙っている。医療機関や学校への安定供給、地元技術者の育成も進め、島のエネルギー自立強化を目指している。[https://www.al-fajrquotidien.com/electricite-moheli-amorce-sa-mue-energetique/?utm\\_source=chatgpt.com](https://www.al-fajrquotidien.com/electricite-moheli-amorce-sa-mue-energetique/?utm_source=chatgpt.com)
- 11日 (La Gazette) IMFはコモロのインフレ率が2025年3月の7.3%から10月には1.9%へ低下したと報告した。主因は輸入価格の下落で、世界経済が不安定な中でも物価上昇は抑制された。IMFは拡大信用ファシリティ (FEC) に基づく改革プログラムの進展を評価し、経済回復や外貨準備の安定、今後の成長見通しに前向きな見方を示している。  
<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/linflation-%C3%A0-l%C3%A9preuve-de-la-conjoncture-mondiale-.html>

### 4 社会

- 2日 (Al-Fajr) アンジュアン島のウアニ空港で、経営難を理由に121人中57人の職員を解雇する方針が発表された。空港側は財政維持のために不可欠な措置だと説明する一方、職員側では選定基準や補償内容の不透明さに不安が広がっている。解雇者には補償金と未払い8か月分の賃金支払いが約束されている。[https://www.al-fajrquotidien.com/anjouan-57-departs-forces-a-laeroport-douani/?utm\\_source=chatgpt.com](https://www.al-fajrquotidien.com/anjouan-57-departs-forces-a-laeroport-douani/?utm_source=chatgpt.com)
- 3日 (La Gazette) コモロ炭化水素公社 (SCH) は、燃料不足への不安から生じた混雑と買いだめを防ぐため、ガソリンスタンドでの携行缶への販売を禁止した。今後は車両への直接給油のみ認められる。政府は供給に問題はないと説明しており、措置は混乱緩和と安全確保が目的である。憲兵の監視も導入される予定。<https://www.lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/produits-p%C3%A9troliers-la-sch-interdit-les-bidons-dans-les-stations-service-.html>
- 13日 (La Gazette) 中東危機の影響で国際便が運休し、複数のコモロ人がドバイで足止めされている。現地のコモロ人の一人は、支援不足や航空会社対応の不透明さを訴える一方、コモロ政府は危機対策本部を設置し、UAE当局や航空会社と連携して帰国支援を進めていると説明している。  
<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/tensions-au-moyen-orient-;-des-comoriens-bloqu%C3%A9s-%C3%A0-duba%C3%AF-face-%C3%A0-l%E2%80%99incertitude-.html>
- 16日 (La Gazette) モロニのリセ・フランセ・アンリ・マティス校で、今後2年間にわたる授業料の大幅値上げに対し保護者が反発している。非奨学生世帯では約600ユーロの増額となり、退学を検討する声も出ている。学校は必要性を説明したが不安は解消されず、署名活動も行われるなど対立が続いている。  
<https://www.lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/lyc%C3%A9e-fran%C3%A7ais-henri-matisse-de-moroni-des-parents-juvent-excessive-la-hausse-des-frais-de-scolarit%C3%A9-.html>
- 23日 (La Gazette) 18日夜、ミツァミウリ沖 (Mitsamiouli : グランコモロ島北部) で移民船が難破し、51人中18人が死亡、30人が救助、3人が行方不明となった。犠牲者の多くはコンゴ (民) 人とブルンジ人で未成年も含まれる。事故はマイヨットを目指す不法移動の中で発生し、密航業者に関

連する可能性がある。救助には当局と住民が対応し、現在も捜索と捜査が続いており、危険な海上移動の深刻さが改めて浮き彫りとなった。

<https://www.lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/naufnage-de-mitsamiouli-le-bilan-s%C3%A9tablit-%C3%A0-18-d%C3%A9c%C3%A8s-.html>

- **24日** (La Gazette) コモロの国立病院CHNエル・マールーフで続く契約職員のストライキをめぐり、病院側は運動の中心とされた5人を「不規則なストによる契約解除」として解雇した。この強硬措置は怒りをさらに増幅させ、いまや公務員身分の職員や医療幹部までもが同僚に加わり、抗議運動を一段と拡大させている。[https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/gr%C3%A8ve-au-chn-el-maarouf-licenciements-de-cinq-figures-du-mouvement-.html?utm\\_source=chatgpt.com](https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/gr%C3%A8ve-au-chn-el-maarouf-licenciements-de-cinq-figures-du-mouvement-.html?utm_source=chatgpt.com)

(了)